

令和6年6月20日
港湾局海岸・防災課

交通政策審議会 港湾分科会 第3回防災部会を開催します ～「令和6年能登半島地震を踏まえた港湾の防災・減災対策のあり方」について審議～

国土交通省では、「令和6年能登半島地震を踏まえた港湾の防災・減災対策のあり方」について、本年3月29日より交通政策審議会 港湾分科会 防災部会を開催し、議論を進めてまいりました。

今般、第3回防災部会を6月25日に開催し、答申(案)のとりまとめに向けた審議を行います。

港湾における防災・減災施策については、令和5年7月に交通政策審議会より「気候変動等を考慮した臨海部の強靱化のあり方」が答申されたところですが、本年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」を受けて明らかになった課題も踏まえ、改めて港湾の防災・減災対策のあり方について検討する必要がありますが生まれました。

このような状況を踏まえ、国土交通省では、交通政策審議会に対して、「令和6年能登半島地震を踏まえた港湾の防災・減災対策のあり方」について諮問し、これまでに防災部会を2回開催し、議論を進めてまいりました。

今般、第3回防災部会では、下記のとおり、答申(案)のとりまとめに向けた審議を行います。

記

日 時: 令和6年6月25日(火) 15:00～16:30

場 所: 国土交通省(分館)(中央合同庁舎第2号館) 12階 国際会議室

議 事: 令和6年能登半島地震を踏まえた港湾の防災・減災対策のあり方について

○本部会は会場またはWEB 上において傍聴することが可能です。会場での傍聴につきましては1社につき1名、WEB 上での傍聴につきましては1社につき1回線とさせていただきます。

○会場でのカメラ撮りは会議の冒頭のみ可能です。また、同日16時30分(会議終了後)から同会場にて事務局による記者ブリーフィングを行います。

○WEB 上で傍聴する場合、所属と名前を必ず記入して、WEB 会議にご入室ください。(記入がない場合、ご入室いただけない可能性があります。)通信状況によって画面・音声の乱れや一時的な停止の可能性があることをあらかじめご了承ください。

○傍聴又はブリーフィングへの出席を希望される方は、6月24日(月)13時までに、氏名(ふりがな)・所属・連絡先(電話番号及びメールアドレス)・出席希望(撮影・傍聴、WEB 傍聴、ブリーフィング)を、下記送付先まで送付いただきますようお願いいたします。

<電子メール送付先: hqt-kaigan.bousai.20【@】gxb.mlit.go.jp >

※メールアドレスの【@】を@に置き換えてご連絡ください。

○配付資料、議事録については、後日、国土交通省のホームページにて公開します。

https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s303_kouwanbousai01.html

問合せ先: 港湾局海岸・防災課 小山、吉崎
TEL: 03-5253-8111(内線 46712、46765)
03-5253-8689(直通)

交通政策審議会港湾分科会防災部会 委員名簿

- 青木 伸一 大阪大学大学院工学研究科 教授
- 有働 恵子 東北大学大学院工学研究科 教授
- 小野 憲司 京都大学経営管理大学院 客員教授
- 河野 真理子 早稲田大学法学学術院 教授
- 河端 瑞貴 慶應義塾大学経済学部 教授
- 久保 昌三 (一社)日本港運協会 会長
- 小林 潔司 京都大学経営管理大学院 特任教授
- 竹林 幹雄 神戸大学大学院海事科学研究科 教授
- 田島 芳満 東京大学大学院 工学系研究科 教授
- 富田 孝史 名古屋大学減災連携研究センター 教授

(50音順、敬称略)